

# 母性看護学実習

## 【実習目的】

母性各期の特徴を理解し、妊婦、産婦、褥婦、新生児とその家族に対する看護が実践できる基礎的能力を養う。

## 【実習目標】

- 1 妊娠・分娩・産褥・新生児期の健康状態を判断し、必要な支援の実際が理解できる。
- 2 妊娠・分娩・産褥・新生児期における母子関係の実際を理解できる。
- 3 母性看護の実習を通して、母性観・父性観を深めることができる。
- 4 周産期医療・看護に携わる看護師の役割が理解できる。

## 【構成および計画】

授業科目	実習内容	時間	単位（合計時間）
母性看護学実習	妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護	80	2（90）
	実践活動外学習	10	

### <実践活動外学習の内訳>

項目	目的	内容	時間
フローアオリエンテーション	実習を円滑に行うために、実習の概要を理解し、実習施設や対象の特徴を知る。	実習の目的・目標、時間数、評価等、病棟の概要、特徴、記録類、病棟スケジュール等	2
対象の医療安全を守るための演習・カンファレンス	臨地実習で受持った妊婦・産婦・褥婦・新生児への医療安全対策を検討する。	受持ち対象に起こりうる医療事故、対象の安全を守るための看護実践の方法等	4
対象に行った支援計画や支援の実際の充実を図るための演習	臨地実習で受持った対象への指導や支援の実際を振り返り、対象の個別性を考えた指導や支援方法の検討をする。	対象の個別性を踏まえた指導計画・支援計画の修正と、実施した支援の根拠の確認、実施した支援技術の上達等	4